

自衛隊の中東派遣を止めよう！

～そこは戦地だった～

柿山朗さん

(戦没船を記録する会理事
元外航船長・元海員組合全国委員)



日時：12月4日(水) 午後6時半開始

場所：イーブルなごや 第2研修室

参加費：800円



|| 想定される自衛隊活動海域

昨年5月、アメリカのトランプ大統領が、「イラン核合意」から離脱し、イランに対する経済制裁を再開すると発表して以来、緊張した状況が続いている中東に対し、政府は、イエメン沖アデン湾で海賊対処活動をしている海上自衛隊の護衛艦や哨戒機の転用に加え、新たな護衛艦の派遣をすることをしています。派遣の根拠は防衛省設置法の「調査・研究」という派遣の法的根拠もあいまいなものです。河野防衛相はホルムズ海峡で活動する可能性も排除しないと発言し、防衛省は国会答弁で、現地の情勢により、「海上警備行動の発令が考えられる」としています。イラクや南スーダンへの自衛隊派遣で明らかになったことは、ひとたび自衛隊が派遣されれば、現地の情勢がどのようなのか政府は情報を明らかにしない、ということです。元外航船長として、紛争地域での航海を経験した柿山さんにお話を伺い、自衛隊の中東派遣を考えます。ぜひ、ご参加ください。

呼びかけ：不戦へのネットワーク

連絡先：名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル2F

電話：050-3593-5130

Eメール：husen@jca.apc.org

<http://www.jca.apc.org/~husen/>

www.facebook.com/antiwarnetwork